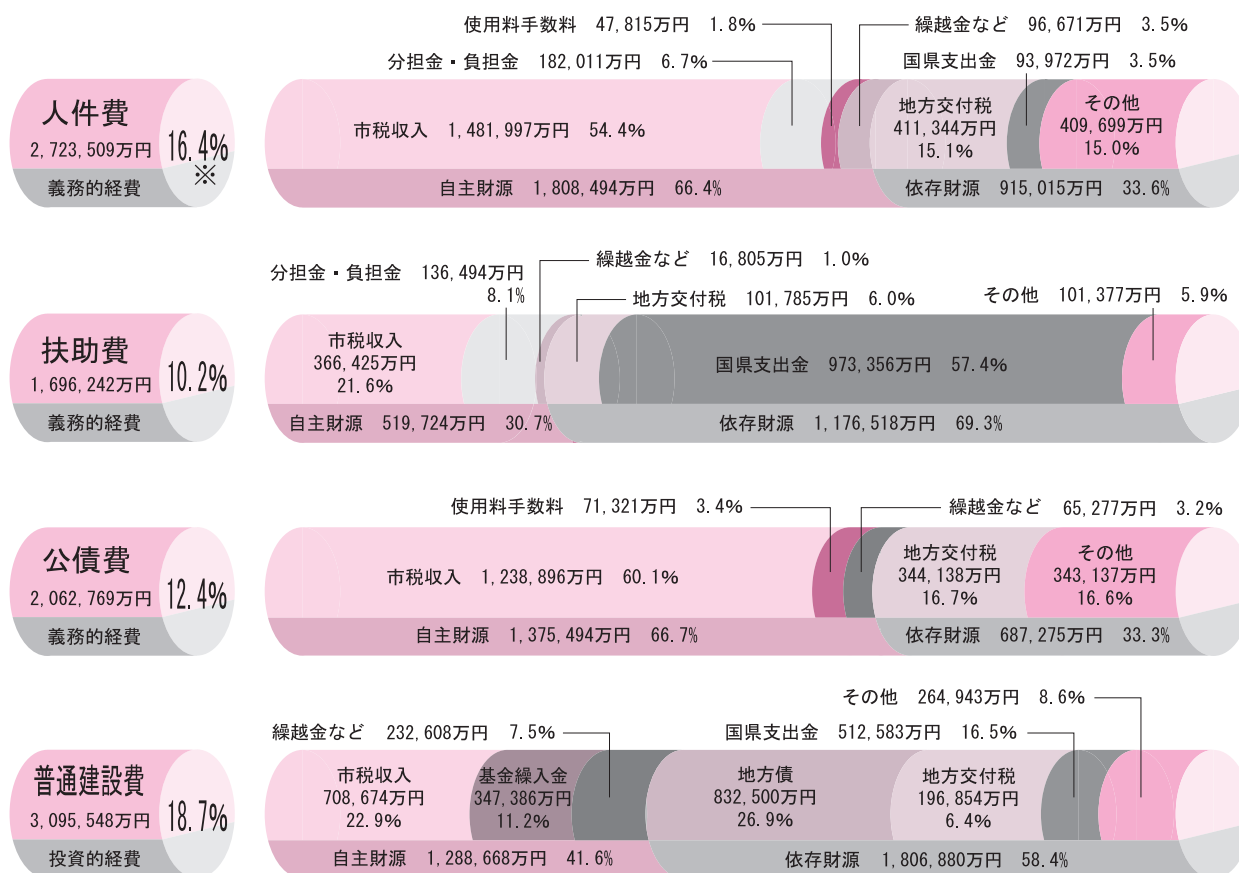


予算を性質別にみると…

■性質別歳出予算財源構成表（上位4項目を抜粋）



※4項目の構成比率は、それぞれ、性質別歳出予算全体に占める割合です

上の「性質別歳出予算構成表」は、平成17年度の当初予算を性質別に表したものです。予算全体に占める「義務的経費」、「投資的経費」の割合はそれぞれ39.0%、18.7%です。

表から、「人件費」は、その54.4%が市税収入であることが分かります。また、「扶助費」は、全

体の69.3%が依存財源であり、国県支出金が57.4%を占めることから、制度にのっとり扶助されていることが分かります。

そのほか「普通建設費」は、58.4%が地方債、地方交付税、国県支出金などの依存財源であることが分かります。

用語解説

■性質別歳出予算

経済的性質を基準に分類した予算で、「人件費」、「扶助費」、「公債費」、「普通建設費」などに分類されます

■目的別歳出予算

(3ページ下段の表)

行政目的で分類した予算で、「総務費」、「民生費」、「衛生費」などがあります

■義務的経費

支出が義務づけられ、任意に削除できない経費で、次の3項目をいいます。

- ①職員の給与などの「人件費」
- ②生活保護などの「扶助費」
- ③借り入れた地方債の元利償還金などの「公債費」

■投資的経費

道路建設や学校、公園などの社会資本の整備に要する「普通建設事業費」のほか、災害復旧事業費などがあります